

令和5年度事業計画

自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日

基本方針

新型コロナウイルス感染症の蔓延が始まりすでに4年目になった。5月8日に政府はインフルエンザと同等の5類基準に引き下げることを発表し、各方面でも平常な生活に戻す動きが出ている。とはいえ、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化、さらにはロシア・ウクライナ情勢も改善せず、原油をはじめとした原材料価格、および円安などにより軒並み物価は上昇し、日常生活にも影響が出ている。とりわけ、原材料の相次ぐ値上げに製造業や建設業をはじめ、多くの個人事業者の経営環境はきわめて厳しい状況にある。

本年10月からはインボイス制度が始まり、令和6年1月からは電子帳簿保存法の改正など大きな変革がある。令和4年分の申告相談会は、通常 of 申告相談に加えて、インボイス制度の相談や申請書の書き方の質問も多くあった。制度の導入に向けての研修会は十数回にわたり開催し、昨年12月には、個別相談会も開催したが、個人事業者にとって厳しい選択を余儀なくされることとなる。

しかしながら、税制改正運動により激減緩和措置が設けられ、小規模な事業者にとっては一時的ではあるが朗報である。本年もインボイス制度説明から具体的な記帳の相談会も随時行っていく予定であり、ブルーリターンAソフトを利用した記帳を推進し、記帳水準の向上に対応したあらたな指導・相談体制の整備をめざす。そして指導員の人材確保に重点をおき確定申告期の混乱を少しでも緩和させたい。

当会は人材不足が続いており深刻な問題である。令和5年分の消費税の申告相談数は数倍に、それに伴い事務負担も比例すると考えられる。ここ数年をかけて職員育成にも力を注がなければならず、抜本的な見直しが必要かと思われる。

このような状況下ではあるが現状を直視し、関係機関・関連団体と連携しながら、これからも皆さまに信頼されるような運営、人材づくりを目指していきたい。